

家庭科学習指導案

指導者 海田町立海田西中学校
教諭 大塚 聡子

- 1 日 時 平成30年9月21日(金) 第6校時
- 2 学 年 第2学年1組(男子19名 女子17名 36名)
- 3 場 所 海田西中学校 被服室
- 4 題材名 「C衣生活・住生活と自立」
- 5 題材について

(1) 題材観

「C衣生活・住生活と自立」の内容は、(1)「衣服の選択と手入れ」(2)「住居の機能と住まい方」(3)「衣生活、住生活などの生活の工夫」の3項目で構成されている。本題材は、中学校学習指導要領技術・家庭科の示す、布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができること(C-(3)ア)を目標としている。

製作に当ってはミシン操作の基礎的・基本的な知識と技術を活用し、身近な物の1つである布を用いた物の製作を通して、物を作ることの大変さを知り、大切にすることを育てることができる。また、作った物で生活を豊かにし、生活に喜びを生み、また作りたいという気持ちを持つことも体験させたい。また、製作することで物を大切にすることを心や達成感などを育む。

実習で扱う題材については、ソフトデニムなどの丈夫な布を用いて製作することで、生活の中で長く使うことのできる題材である。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、授業に対する意欲は高く、1学年で製作した刺し子ティッシュカバーを家庭で使用するなど、自分や家族の生活を豊かしようとする興味や意欲を感じる。しかし、作品の完成度となると、実技作業が丁寧にできる生徒とそうでない生徒がおり、興味や意欲だけでは、難しいことを感じる。また、ミシンの扱いについても同様である。

(3) 指導観

指導に当っては、製作に使用するミシンについて、小学校での学習を踏まえて、使用前の点検、使用後の手入れとしまい方、簡単な調整方法などを習得させる。また、ミシンの操作については、姿勢や動作が作業の正確さや能率に関係すること、作業環境の整備が安全に影響することなどにも触れる。

製作に当たっては、生徒が製作の目的を明確に持つことができ、生徒の個性や工夫が生かせるように配慮する。

第1時では、完成品から被服作業に関心を持ち、自分なりの工夫を取り入れたエコバックをデザイン画にし、製作の意欲を持たせる。

第2時では、デザイン画やポケット標本から製作手順を考え安全に用具を取り扱い、作業を進めていく意欲を持たせる。

第3時では、きれいに縫うためには、どこをどのように縫うのか視点に気をつけながら、作業を進めさせる。

第4、5、6、7時では、これまでの作業を振り返り、きれいに縫うための視点に気をつけて縫っているか、相互評価しながら作業を進めさせる。お互いに評価、アドバイスをすることでよりきれいな針目で縫おうとする意欲につなげる。

第8時では、諦めることなく取り組み、作品を完成させることで自らへの自信を持たせたい。また、自分で製作したものへの愛着を持たせ活用することで自分や家族の生活を豊かにするという気持ちに繋げたい。

6 題材の目標および内容

○安全に用具を取り扱い、目的に応じた縫い方で製作することができる。 【技能】

○衣生活を豊かにするための製作品を考え、製作計画や方法について自分なりに工夫している。

【工夫】

○材料や用具の適切な選択や、用具の安全な取り扱いに関する知識を身につけている。

【知識・理解】

7 題材の評価規準

ア 生活や技術への関心・意欲・態度	イ 生活を工夫し創造する能力	ウ 生活の技能	エ 生活や技能についての知識・理解
布を用いた物の製作に関心を持って取り組み、自分や家族の生活をより豊かにしようとしている。	衣生活を豊かにするための製作品を考え、製作計画や方法について自分なりに工夫している。	安全に用具を取り扱い、目的に応じた縫い方で製作することができる。	材料や用具の適切な選択や、用具の安全な取り扱いに関する知識を身につけている。

8 本題材において育成したい資質・能力

本校で育成したい資質・能力は、①知識・情報 ②主体性 ③課題発見・解決力 ④チャレンジ精神 ⑤自らへの自信 の5つである。そのうち、本題材で重点的に指導したい資質・能力は次の3つである。

育成したい資質・能力	本題材の学習を通して目指す姿
主体性	ミシンを正しく使い、布を用いた物の製作に関心を持ち、自分や家族の生活をより豊かにしようとして製作に取り組もうとしている。
課題発見・解決力	自分のデザインしたエコバックをデザイン画やポケットの標本から、どこをどのように縫うか考え、完成させることができる。
自らへの自信	作品を完成し、達成感を味わい、自分や家族の生活にいかそうとしている。

9 題材の学習指導計画（全8時間）

時	学習内容	評価				
		関心	工夫	技能	知識	(・) 評価規準 (評価方法) (★) 資質・能力の評価 (評価方法)
1	○完成品から被服作業に関心を持つ。 課題の設定 ○自分のデザインしたエコバックを完成させることができる。	◎			○	・布を用いた物の製作に関心を持って取り組み、自分や家族の生活をより豊かにしようとして製作に取り組もうとしている。(観察) ★製作するエコバックについて、自分なりに工夫をしてデザイン画を描くことができる。(ワークシート)
2	情報収集 ○デザインやポケット標本から製作手順やミシン目の確認を行う。 ○布を裁断する。		◎		○	★製作計画や方法について自分なりに工夫している。(ワークシート) ・安全に用具を取り扱い、布を裁断することができる。(観察)

3 本時	<p>整理分析</p> <p>○ポケット標本を参考にどこをどのように縫うときれいなミシン目になるか考える。</p> <p>○グループで、相互評価し、視点に気をつけながらさらに作業を続ける。</p>		○ ◎	○	<p>★製作するポケットの型により製作手順や縫い方に違いがあるので、目的に応じた縫い方で製作することができる。(観察)</p> <p>・余った布の交換や布と異なる色のミシン糸の使用などの工夫を取り入れようとしている。(観察)</p> <p>・用具の安全な取り扱いに関する知識を身につけている。(観察)</p> <p>・ミシン目を意識し、より美しい針目で縫おうとしている。(観察)</p>
4 5 6 7	<p>整理分析</p> <p>○グループで、相互評価したり、教えあう。</p> <p>○視点に気をつけながら、脇縫いや袋口、ひもつけなどの作業を続ける。</p>		○ ◎	○	<p>・安全に用具を取り扱い、目的に応じた縫い方で製作することができる。(観察)</p> <p>・余った布の交換や布と異色のミシン糸の使用などの工夫を取り入れようとしている。(観察)</p> <p>・材料や用具の適切な選択、用具の安全な取り扱いに関する知識を身につけている。(観察)</p> <p>★ミシン目を意識し、より美しい針目で縫おうとしている。(観察)</p>
8	<p>まとめ</p> <p>○作品を完成させる。</p> <p>振り返り</p> <p>○相互評価、自己評価をする。</p>		○ ◎		<p>・安全に用具を取り扱い、目的に応じた縫い方で製作することができる。(観察)</p> <p>★作品を完成し、達成感を味わい、自分や家族の生活にいかそうとしている。(観察・作品)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★「深い学び」を実現した生徒の具体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの工夫を取り入れデザインしたエコバックを製作することができた。 ・ミシンの操作を理解し、ミシンを使ってきれいに縫うことができた。 </div>

10 本時の学習

(1) 本時の目標

自分の製作ポケットのどこをどのように縫うときれいなミシン目になるか考えて縫う。

(2) 本時の評価規準

製作するポケットの型により製作手順や縫い方に違いがあるので、目的に応じた縫い方で製作することができる。

(3) 準備物

・製作物 ・裁縫道具、ミシン ・ワークシート

(4) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意点 (◇) (◆「努力を要する状況」と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準 (○) 教科の指導事項 (★) 資質・能力 (評価方法)
導入	1 前時までの想起		
展開	2 本時の目標の確認	◇「きれいなミシン目」の視点をおさえる。	
	自分の製作ポケットのどこをどのように縫うときれいなミシン目になるか考えて縫う。		
	3 自分の製作するポケットのどこをどのように縫うときれいなミシン目になるか考えて縫う。 4 グループ内で相互評価をし、さらに作業を行う。 5 アドバイスを参考に、さらに縫う。	◇デザイン画やポケットの標本からどこをどのように縫うときれいなミシン目になるか、考えさせる。 ◆机間巡視しながら、「きれいなミシン目」の視点をおさえ個別指導を行う。 ◇視点ごとの評価をさせ、さらにきれいに仕上げるためのアドバイスをさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">「協働」の場面での生徒の言葉</div>	○安全に用具を取り扱い、目的に応じた縫い方で製作することができる。(観察) ★製作するポケットの型により製作手順や縫い方に違いがあるので、目的に応じた縫い方で製作することができる。(観察)
・上糸、下糸のかけ方が間違っているなど、ミシンの操作が間違っているとうまく縫えないことがわかった。ミシン操作を教えあうことができた。 ・制作するポケットの型により、縫い方に違いがあることがわかった。			
まとめ	6 学習のまとめ・振り返り		
★めざす生徒の姿 ・ミシンの操作を理解し、きれいに直線縫いができる。 ・角を直角に縫うには、押さえを上げ、針を支点に90度回転させるとよいことに気付いた。 ・余った布の交換や布と異なる色のミシン糸の使用などの工夫を取り入れようとしている。			
	7 次時の予告 視点に注意しさらに作業を続ける。		

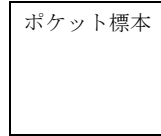
1 1 板書計画

めあて：自分の製作ポケットのどこをどのように縫うときれいなミシン目になるか考えて縫う。

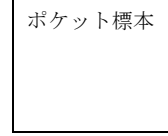
○きれいなミシン目を作るには？

- ・上糸，下糸のかけ方を間違えない。
- ・まっすぐに縫う。
- ・角を直角にする。

ポケット標本



ポケット標本



ポケット標本

